

# 社会資源 編

ねらい： 認知症の人を取り巻く、医療、介護及び  
地域の社会資源等の活用の重要性を理解  
する

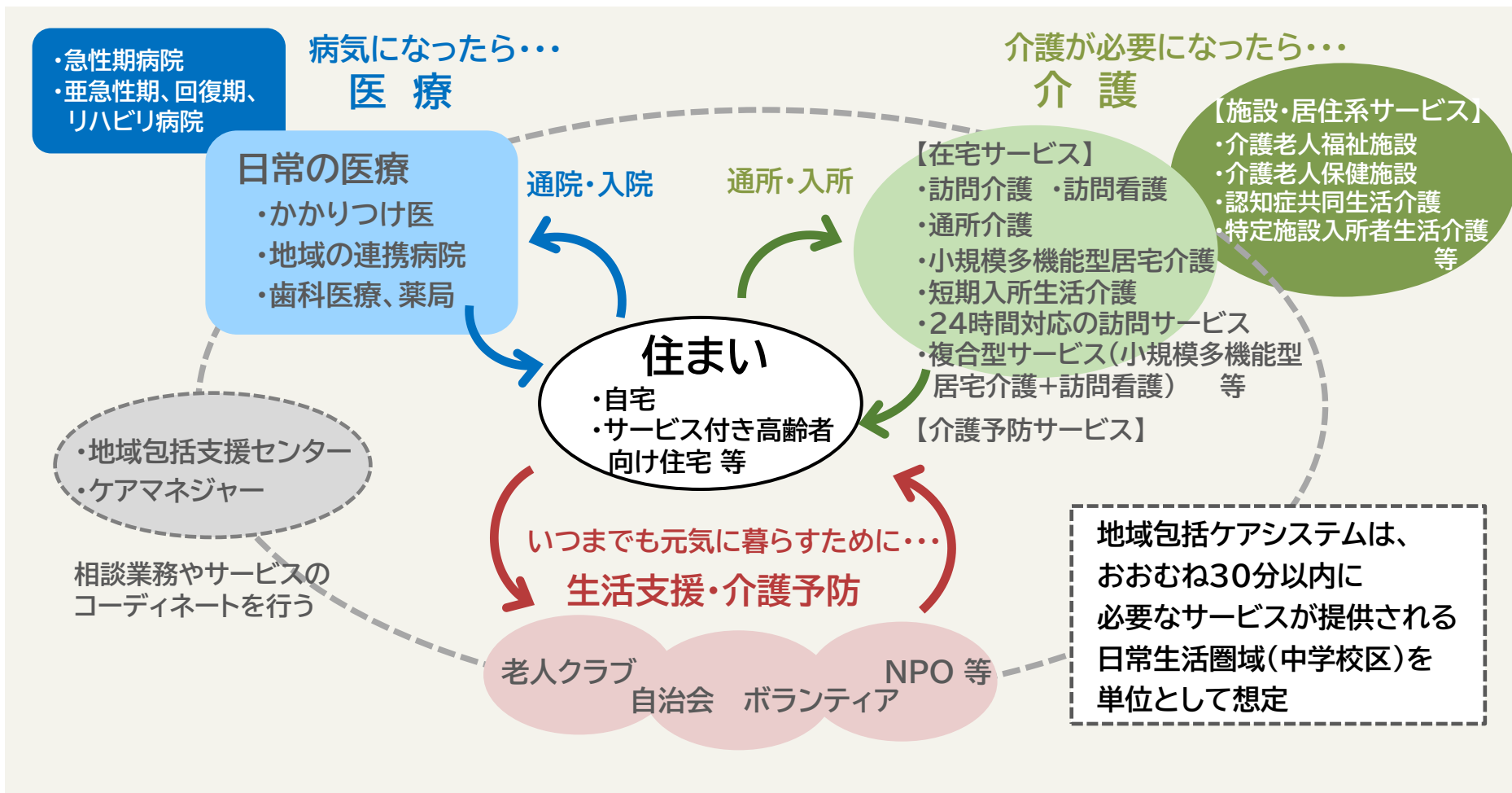
到達目標：

- 認知症の人を支える施策や仕組みを理解できる
- 活用できる制度等について、本人・家族に説明できる

# 地域包括ケアシステム

## 〔資源1〕

住まい・医療・介護・予防・生活支援 が包括的に提供される 地域包括ケアシステムの実現により、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる

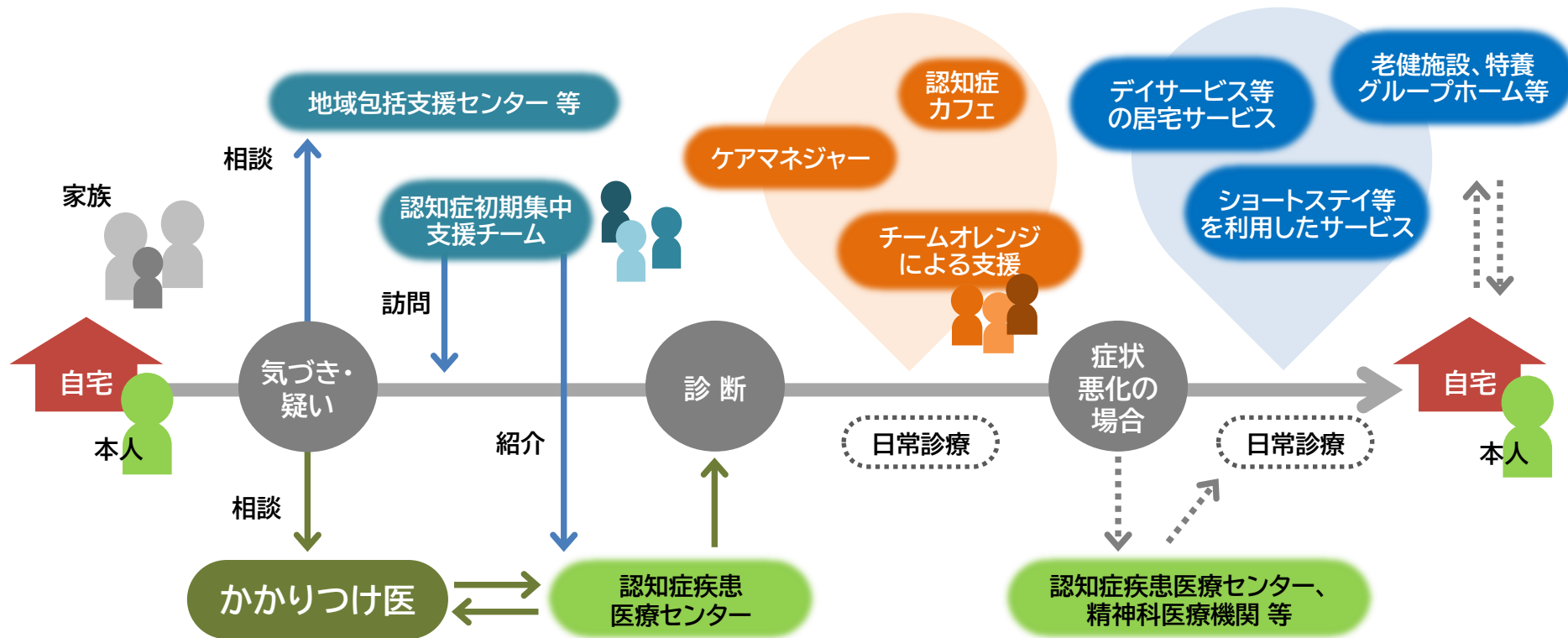


# 認知症ケアパス

## 〔資源2〕

『認知症発症予防から人生の最終段階まで、認知症の容態に応じ、相談先や、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければいいのか、これらの流れをあらかじめ標準的に示したもの』（認知症施策推進大綱）

### 認知症ケアパスのイメージ(一例)



# 認知症の人への支援体制

## ～医療・介護・地域の連携～

〔資源3〕

認知症の人やその家族の暮らしを支えるサービスは多方面にわたり展開

### 医療

(適切な医療の提供)

- もの忘れ相談の実施
- かかりつけ医、認知症サポート医による適切な医療や介護サービスへのつなぎ
- 認知症疾患医療センター等の専門医療機関による確定診断
- かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局における医療、気づきと連携 等

### 本人・家族

### 介護

(専門的なケアやサービスの相談と提供)

- 認知症予防のための地域支援事業
- 本人の状態に合わせた介護サービス
  - ・認知症対応型通所介護
  - ・小規模多機能型居宅介護
  - ・グループホーム 等

### 地域

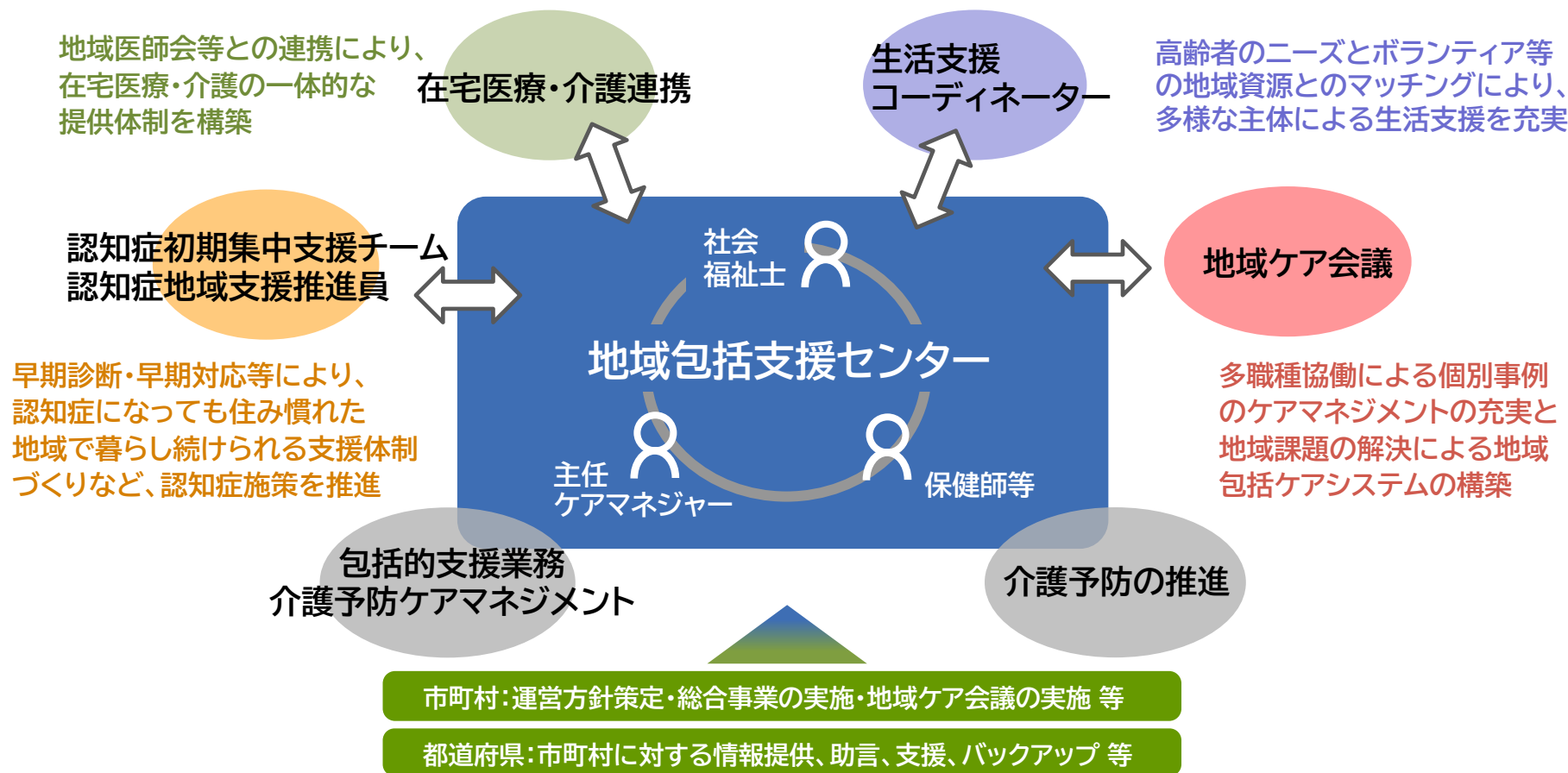
(権利擁護や見守り、家族支援)

- 認知症サポーター・民生委員等による見守り
- 見守り、配食などの生活支援サービスや権利擁護などの地域支援事業の活用
- 住民参加型在宅福祉サービス・認知症カフェ・通いの場等のインフォーマルな活動からの情報
- 市民後見人の育成及び活用
- 認知症の方やその家族に対する支援団体による電話相談や交流会の実施 等

市町村は必要な介護サービスを確保するとともに、それぞれの分野の活動支援、推進を図る

# 地域包括支援センター

## 〔資源4〕



地域包括支援センターの機能強化に向けて

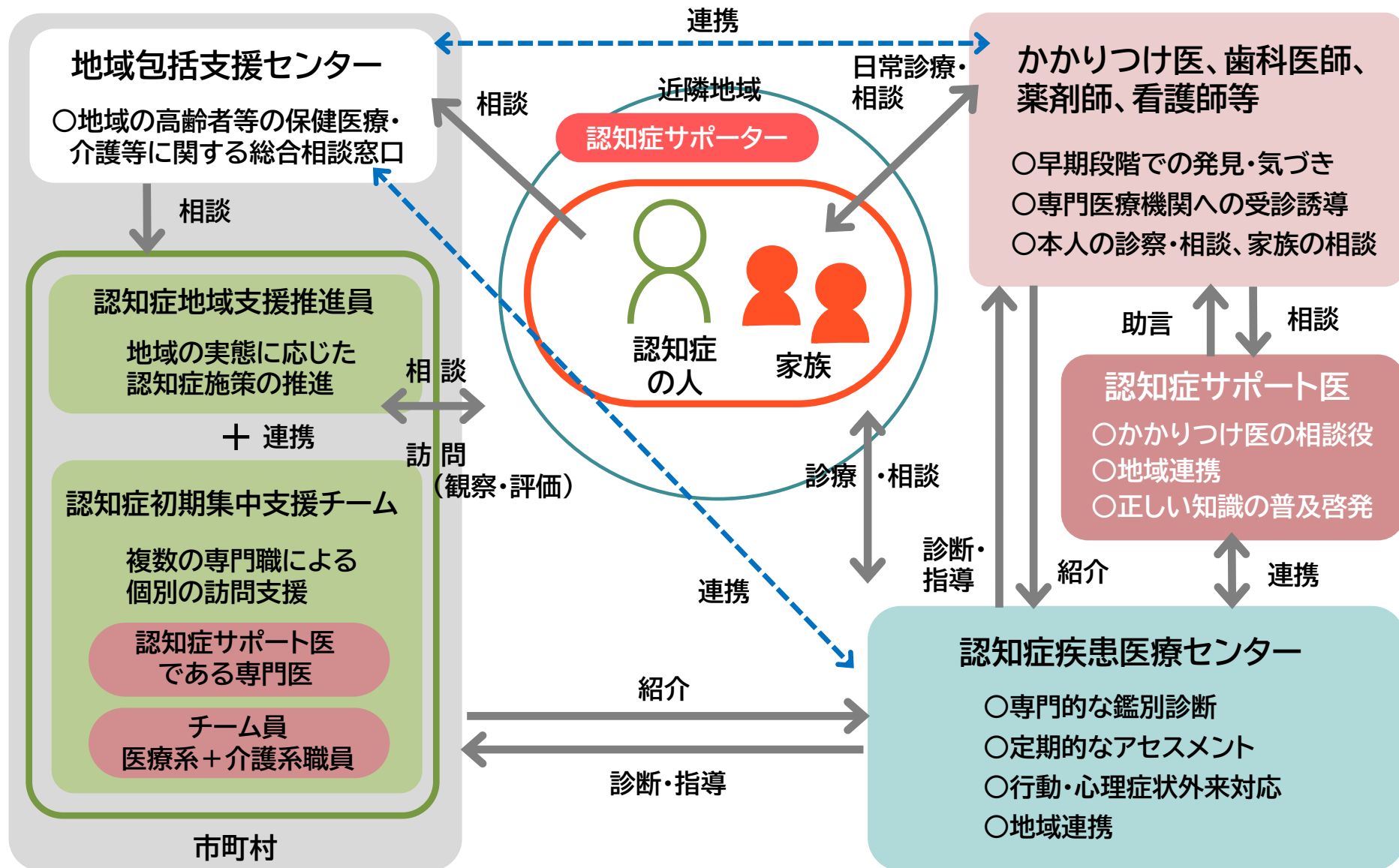
業務量増加・センターごとの役割に応じた人員体制の強化

基幹型・機能強化型センターの位置づけ等、連携強化・効果的運営

運営協議会による評価・PDCAの充実等、継続的な評価・点検

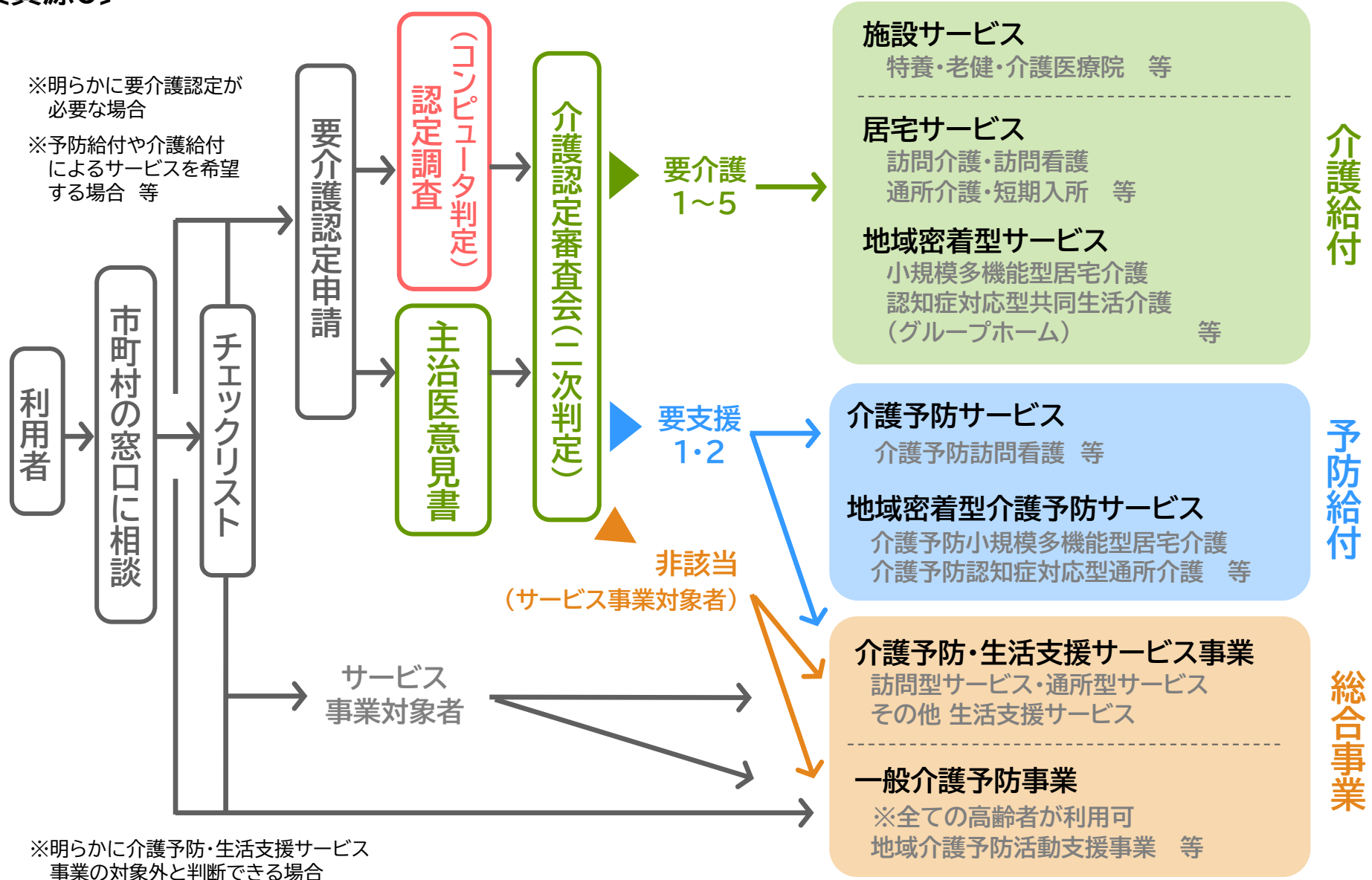
# 認知症の人を支える様々な仕組み

〔資源5〕



# 介護保険制度の利用の流れ

## 〔資源6〕



# 成年後見制度と日常生活自立支援事業

〔資源7〕

判断能力の不十分な人の日常生活上のニーズを発見し、その判断を支援することにより、要支援者の生活を継続的に支える仕組み

## 成年後見制度

後見人による本人の意思決定の代行支援  
財産管理・身上監護に関する法律行為

## 日常生活自立支援事業

- i 福祉サービス利用援助
- ii 苦情解決制度利用援助
- iii 住宅改造、日常生活上の消費契約、  
行政手続きに関する援助など

日常的金銭管理

できる限り地域で自立した生活を継続していくため、  
必要な福祉サービスの利用援助やそれに付随した  
日常的な金銭管理等の援助を行う



# 若年性認知症の人への支援

## 〔資源8〕

65歳未満で発症する認知症を総じて「若年性認知症」という

- 若年性認知症は 高齢者の認知症とは年齢や置かれている環境や異なるため、**本人や家族の心理的・経済的状态等への配慮が必要**
- 早期診断・治療、**適切な支援や相談機関や支援機関へのつながりが重要**
- 若年性認知症コールセンター(全国若年性認知症支援センター)  
[https://y-ninchisyotel.net/call\\_center/](https://y-ninchisyotel.net/call_center/)

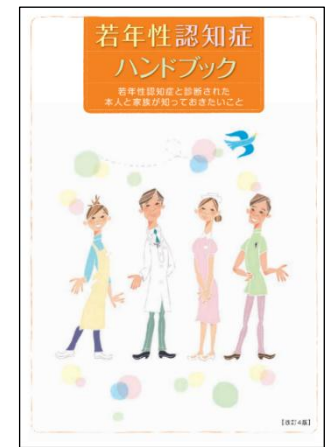
### 【若年性認知症支援コーディネーターの役割】

- ・ 本人やその家族、職場等からの電話等による相談窓口
- ・ 適切な専門医療へのアクセスと継続の支援
- ・ 利用できる制度・サービスの情報提供
- ・ 関係機関との連絡調整

#### 専門職向け



#### 本人・家族向け



2025年3月時点

# 神戸市認知症ケアパス

25年11月改定版

認知症の人を地域で支えよう

オレンジリングは認知症サポーターの目印！

第五回オレンジリング認知症サポーター研修会を開催しました。研修会では、認知症サポーターの役割や活動方法について学びました。

神戸市 認知症サポーター

検索



認知症地域支援あい推進事業

認知症の方や家族の困りごとを解決するため、本市が推進する「認知症地域支援あい推進事業」は、認知症の人や家族の困りごとを解決するための取り組みです。

神戸市 認知症地域支援あい推進事業

検索



区役所連絡先

ご不明な点は居住地の各区役所、支所の保健福祉課へお問い合わせください。  
受付時間：平日午前8時30分～12時、午後1時～5時15分（日・祭日は受付停止）  
※2025年12月1日（月）の受付時間から、午前8時～12時、午後1時～5時15分に変更となります。

東灘区役所

TEL: 841-1111 (内線)  
FAX: 841-5781

灘区役所

TEL: 843-7001 (内線)  
FAX: 843-7016

中央區役所

TEL: 325-7511 (内線)  
FAX: 325-6344

兵庫区役所

TEL: 61-2-1111 (内線)  
FAX: 61-7003

永区役所

TEL: 692-1111 (内線)  
FAX: 695-2381

北神区役所

TEL: 681-5377 (内線)  
FAX: 681-5314

東三區役所

TEL: 576-2211 (内線)  
FAX: 566-6326

須磨区役所

TEL: 731-4347 (内線)  
FAX: 735-0515

北神支所

TEL: 735-7511 (内線)  
FAX: 735-7511

西三區役所

TEL: 708-0-5111 (内線)  
FAX: 703-6304

西区役所

TEL: 640-0501 (内線)  
FAX: 640-2521

## 神戸市 認知症 ケアパス

認知症やその症状に応じた相談窓口や、  
利用できるサービスを理解するために



神戸市は、認知症の人にやさしいまちづくりを推進しています。

神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例  
基本理念

- 1 認知症の人の尊厳が保持され、その者の意思が尊重され、社会参加を促し、安全に、かつ、安心して暮らし続けられることを目指すこと。
- 2 認知症の人とその家族のより良い生活を実現するために必要な支援を届けられるよう、まち全体で支えること。

memo

25年11月改定版

● 国境とあるが水素などにより、気体組成の異なる中炭素の比率は、それぞれ異なり、多くは水素炭素としてご焼くご焼い。  
● ナービス中何種類かの明用について、品下の区分に区別がなくとも明用できるものが多いため、詳しくはそれぞれの高炭素にお願いいたします。

日常生活は 自立して過ごせる	誰かの見守りが あれば生活は 自立できる	日常生活に 手助け・介護が 必要になる	常に介護が 必要になる
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 独り暮らしでも生活がしやすい</li> <li>● 食事に「あれ」「これ」などの制限がほとんどない</li> <li>● 好きなことを好きなようにできる</li> <li>● 旅行に行くこともできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今までの生活がほとんど変わらない</li> <li>● 特定の活動が難しくなる、介助が必要になる</li> <li>● 買い物などの外出が難しくなる</li> <li>● ものを取りかかると肉体的に疲れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車椅子から生活が送れる、介助が必要</li> <li>● ひとりで生活が難しくなる</li> <li>● 買い物についている介助のことが多くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車椅子から生活が送れない</li> <li>● 家のトイレでも入浴することができない</li> <li>● 食事、入浴、身の回りのことの介護が必要になる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族以外の人でも介護を受ける、生活は基本的に他の生活と変わらない</li> <li>● 車いす・歩行器・杖などの使用が必要</li> <li>● 車いす・歩行器・杖、介護用品の購入や修理が必要</li> <li>● 介護費用など、介護を受けるための費用が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護を受ける人が少ない、介護を受けることが少ない</li> <li>● 介護を受ける人が少ない、介護を受けることが少ない</li> <li>● 介護を受ける人が少ない、介護を受けることが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケアマネージャー・介護士・介護士など、介護を受ける人が少ない</li> <li>● ケアマネージャー・介護士・介護士など、介護を受ける人が少ない</li> <li>● ケアマネージャー・介護士・介護士など、介護を受ける人が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケアマネージャー・介護士・介護士など、介護を受ける人が少ない</li> <li>● ケアマネージャー・介護士・介護士など、介護を受ける人が少ない</li> <li>● ケアマネージャー・介護士・介護士など、介護を受ける人が少ない</li> </ul>

### 1 声出し音速

得難に思ふは、  
思ふに思ふは、

## 2 知能・能力・知識

精神的・身体的に疲弊し、知能・意欲共に低下し、  
 不眠・食欲不振・不安・うつ状態など、どうも元気がない、  
 何かをやる気がない、といった状態がみられる。

### ● 卷4 卷4

朝っぴりイライラしても仕方がないと思ひ知る時節、園校体同じでも同僚は驚く事。

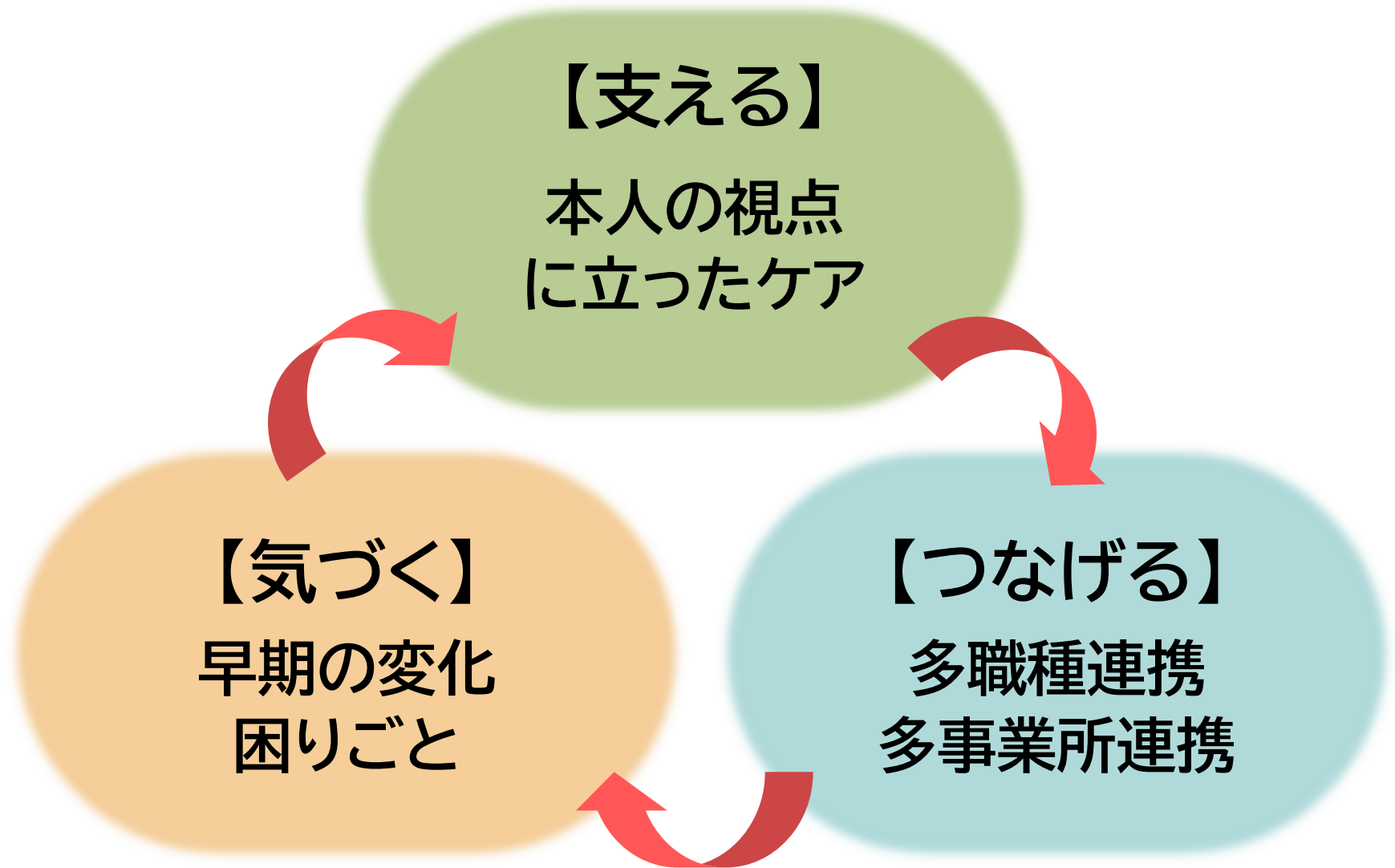
**4 无密**

圖知由切人的為基知求求電或時  
人知見由基入為二求基



# 修了者への期待と役割（まとめ）

〔資源9〕



私たちは、認知症とともに暮らしています。  
日々いろんなことが起き、不安や心配はつきませんが、  
いろいろな可能性があることも見えてきました。  
一度きりしかない自分の人生をあきらめないで、  
希望を持って自分らしく暮らし続けたい。  
次に続く人たちが、暗いトンネルに迷い込まずにもっと楽に、  
いい人生を送ってほしい。  
私たちは、自分たちの体験と意志をもとに  
「認知症とともに生きる希望宣言」をします。  
この宣言をスタートに、自分も希望を持って暮らしていこうという人、  
そしてよりよい社会を一緒につくっていこうという  
人の輪が広がることを願っています。

『認知症とともに生きる希望宣言』より

日本認知症本人ワーキンググループ(JDWG) ホームページ(<http://www.jdwg.org/statement/>)  
を参照して作成

